2020年度

決 算 報 告 書

自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日

2021年6月

一般社団法人日本教育情報化振興会

貸借対照表 2021年3月31日現在

科目	当 年 度	前 年 度	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	116,664	432,222	△315,558
預金金	46,846,856	39,468,712	7,378,144
未収金	12,816,649	19,213,202	△6,396,553
未収消費税	0	0	0
流 動 資 産 合 計	59,780,169	59,114,136	666,033
2. 固定資産			
(1)特定資産	0.750.000	0.540.000	040.000
退職給付引当資産	3,750,000		210,000
運営強化基金	849,180,830	910,926,090	△61,745,260
宮島 基金	13,355,365		△54,340
特定資産合計	866,286,195	927,875,795	△61,589,600
(2)その他固定資産			
建物付属設備	0	0	0
什器 備品	0	0	0
ソフトウェア	592,773		592,773
事務所保証金	11,229,140		500.770
その他固定資産合計	11,821,913		592,773
固定資産合計	878,108,108		△60,996,827
資 産 合 計	937,888,277	998,219,071	△60,330,794
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
1. 加知兵債 り 金	263,800	292,921	△29,121
未 払 金	11,270,200	18,063,787	△6,793,587
未払消費税	48,300		
賞与引当金	259,357	255,020	4,337
流動負債合計	11,841,657	18,677,728	
20 22 22 PC H HI	. 1,5 11,507	. 5,5 / / / 20	
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	3,750,000	3,540,000	210,000
固 定 負 債 合 計	3,750,000	3,540,000	210,000
負 債 合 計	15,591,657	22,217,728	△6,626,071
Ⅲ 正味財産の部			
一般正味財産	922,296,620	976,001,343	△53,704,723
(うち、特定資産への充当額)	(862,536,195)	(924,335,795)	(△61,799,600)
負債及び正味財産合計	937,888,277	998,219,071	△60,330,794

貸借対照表内訳表

2021年3月31日現在

科目	公益目的 支出計画 実施事業会計	一般事業会計	法人会計	숌 핡
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	0	0	116,664	116,664
預金金	0	0	46,846,856	46,846,856
未 収 金	12,816,649	0	0	12,816,649
内 部 振 替 勘 定	△72,187,954	△28,334,959	100,522,913	0
流 動 資 産 合 計	△59,371,305	△28,334,959	147,486,433	59,780,169
2. 固定資産 (1)特定資産	0	0	3,750,000	2 750 000
退職給付引当資産	0	0	· ·	3,750,000
運営強化基金	0	0	849,180,830	849,180,830
宮 島 基 金 特定資産合計	0	0	13,355,365	13,355,365
付足貝座口司 (2)その他固定資産	U	U	866,286,195	866,286,195
(2)ての他回足貝座	0	0	592,773	592,773
事務所保証金	0	0	11,229,140	11,229,140
その他固定資産合計	0	0	11,821,913	11,821,913
国 定 資 産 合 計	0	0	878,108,108	878,108,108
資 産 合 計	△59,371,305			937,888,277
			1,020,001,011	007,000,277
Ⅱ 負債の部 1. 流動負債				
預り金	0	0	263,800	263,800
未 払 金	0	0	,— ,—	
未払消費税	0	0	48,300	48,300
賞 与 引 当 金	0	0	259,357	259,357
流動負債合計	0	0	11,841,657	11,841,657
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	0	3,750,000	3,750,000
固定負債合計	0	0	3,750,000	3,750,000
負 債 合 計	0	0	15,591,657	15,591,657
Ⅲ 正味財産の部 一般正味財産	△59,371,305	△28,334,959	1,010,002,884	922,296,620
1	, -,	, -,	, , _,	, -,-=
負債及び正味財産合計	△59,371,305	△28,334,959	1,025,594,541	937,888,277

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
① 特定資産受取利息	8,564,986	8,826,026	△261,040
受取入会金			
① 受取入会金	800,000	1,000,000	△200,000
受取会費			
① 受取会費	55,980,000	57,370,000	△1,390,000
事業収益			
① 受取参加料	0	8,328,000	△8,328,000
② 受取広告料	2,027,000	1,476,100	550,900
③ 受取出展料	0	0	0
④ 受取委託料	5,397,000	9,020,000	△3,623,000
⑤ 販売収益	460,092	384,338	75,754
⑥ 受取協賛金	4,281,386	15,335,947	△11,054,561
受取補助金等			
① 受取民間補助金	12,726,649	18,113,202	△5,386,553
雑収益			
① 雑収益	353,635	248,361	105,274
経常収益計	90,590,748	120,101,974	△29,511,226

科目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
① 印刷製本費	5,409,866	7,159,584	△1,749,718
② 賃借料	25,890,764	27,330,328	△1,439,564
③ 水道光熱費	364,855	0	364,855
④ 広告宣伝費	1,130,660	0	1,130,660
⑤ 諸謝金	2,729,480	5,821,606	△3,092,126
⑥ 委託費	48,194,529	58,327,873	△10,133,344
⑦ 支払負担金	0	356,400	△356,400
⑧ 支払手数料	495,755	623,203	△127,448
⑨ 租税公課	1,364,545	1,378,513	△13,968
⑩ 新聞図書費	144,166	206,110	△61,944
① 役員報酬	9,894,000	12,735,000	△2,841,000
⑫ 給料手当	5,020,731	6,274,519	△1,253,788
⑬ 福利厚生費	1,939,083	2,656,275	△717,192
⑭ 会議費	53,042	1,229,286	△1,176,244
⑮ 旅費交通費	5,220,858	13,779,965	△8,559,107
⑯ 通信運搬費	4,425,137	6,866,511	△2,441,374
⑪ 消耗品費	674,416	2,662,605	△1,988,189
事業費計	112,951,887	147,407,778	△34,455,891

科目	当年度	前年度	増 減
管理費			
① 印刷製本費	463,980	466,388	△2,408
② 賃借料	1,486,801	1,732,648	△245,847
③ 水道光熱費	15,887	0	15,887
④ 諸謝金	0	33,411	△33,411
⑤ 委託費	1,514,099	1,607,017	△92,918
⑥ 支払負担金	4,575,000	4,752,717	△177,717
⑦ 支払手数料	26,092	52,707	△26,615
⑧ 租税公課	124,541	139,673	△15,132
⑨ 役員報酬	306,000	465,000	△159,000
⑪ 給料手当	264,249	242,198	22,051
⑪ 退職給付費用	210,000	182,000	28,000
⑪ 福利厚生費	102,056	139,809	△37,753
③ 会議費	139,232	1,089,614	△950,382
⑭ 旅費交通費	145,666	128,170	17,496
⑮ 通信運搬費	128,493	205,148	△76,655
⑯ 消耗品費	32,961	107,560	△74,599
⑪ 減価償却費	63,267	0	63,267
管理費 計	9,598,324	11,344,060	△1,745,736
経常費用計	122,550,211	158,751,838	△36,201,627
評価損益等調整前当期経常増減額	△31,959,463	△38,649,864	6,690,401
特定資産評価損益等	△21,745,260	726,370	△22,471,630
当期経常増減額	△53,704,723	△37,923,494	△15,781,229

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△53,704,723	△37,923,494	△15,781,229
一般正味財産期首残高	976,001,343	1,013,924,837	△37,923,494
一般正味財産期末残高	922,296,620	976,001,343	△53,704,723

正味財産増減計算書内訳表

2020年4月1日から2021年3月31日まで

	1	八	画実施事業会計				般 事 業 会	±4			(単位:円
	継続1	公益日的又由計 継続2	継続3		一般1	一般2	一般3	一般4			
科目	教育におけるICT 利用促進のための 調査研究事業	松 祝 2 教育の情報化 普及促進事業	松祝S 教育現場の ICT安全安心 対策事業	小 計	教育の情報化に ついての調査・ 研究開発事業	一版2 教育の情報化の 普及・推進事業	を 対	一般4 会員情報交流 事業	小計	法人	合計
1. 経常増減の部	調宜研究争来		刈束争来		研 究開究争果						
(1) 経常収益											
特定資産運用益											
① 特定資産受取利息										8,564,986	8,564,98
受取入会金											
① 受取入会金										800,000	800,000
受取会費											
① 受取会費										55,980,000	55,980,00
事業収益											
① 受取参加料				0					0	0	(
② 受取広告料		630,000		630,000		1,397,000			1,397,000		2,027,000
③ 受取出展料				0					0		(
④ 受取委託料				0			5,397,000		5,397,000		5,397,000
⑤ 販売収益		134,800		134,800	3,200	322,092			325,292		460,092
⑥ 受取協賛金	1,017,500			1,017,500		3,263,886			3,263,886		4,281,380
受取補助金等											
① 受取民間補助金			12,726,649	12,726,649							12,726,649
雑収益											
① 雑収益		33,000		33,000		320,496			320,496	139	353,63
経常収益計	1,017,500	797,800	12,726,649	14,541,949	3,200	5,303,474	5,397,000	0	10,703,674	65,345,125	90,590,748
(2)経常費用											
事業費											
① 印刷製本費	62,192	2,243,223	848,103	3,153,518	634,701	1,524,162	92,843	4,642	2,256,348		5,409,860
② 賃借料	2,359,644	5,211,213	5,431,210	13,002,067	2,610,842	4,436,407	5,580,888	260,560	12,888,697		25,890,764
③ 水道光熱費	44,346	63,551	63,548	171,445	31,774	63,411	95,048	3,177	193,410		364,85
④ 広告宣伝費		1,115,660	4 0 40 550	1,115,660		070	15,000		15,000		1,130,660
⑤ 諸謝金		461,000	1,349,028	1,810,028	41,068	878,384			919,452		2,729,480
⑥ 委託費	10,283,460	11,671,439	14,999,609	36,954,508	553,354	6,010,368	4,320,965	355,334	11,240,021		48,194,529
⑦ 支払負担金				0					0		
⑧ 支払手数料	46,966	104,372	104,369	255,707	52,184	78,277	104,369	5,218	240,048		495,75
⑨ 租税公課	141,545	279,770	279,767	701,082	159,883	209,825	279,767	13,988	663,463		1,364,54
⑪ 新聞図書費	0.040.000	4 007 000	0.050.000	0 570 000	144,166		540,000	F4 000	144,166		144,160
① 役員報酬	2,040,000	1,887,000	2,652,000	6,579,000	867,000	1,887,000	510,000		3,315,000		9,894,000
① 給料手当	475,648	1,056,997	1,056,996	2,589,641	792,747	1,056,996	528,498	52,849	2,431,090		5,020,73
③ 福利厚生費	183,701	408,235	408,227	1,000,163	204,113	306,170	408,227	20,410	938,920		1,939,08
⑤ 旅費交通費	27,778 363,737	6,289	5,423 1,636,620	2,640,707	2,711	5,147 1,695,330	5,423	28,381	13,552 2,580,151		53,042
⑥ 通信運搬費		640,350					567,627				
⑪ 迪福建	1,375,980 59,331	2,037,231	154,459 131,848	3,567,670	225,168 65,923	497,477 137,485	128,444	6,378	857,467 341,848		4,425,13° 674,410
事業費計	17,464,328	27,327,719	29,121,207	73,913,254	6,674,447	18,786,439	12,768,947	808,800	39,038,633	0	112,951,88
管理費	17,404,320	27,327,713	29,121,207	73,313,234	0,074,447	10,700,433	12,700,947	800,000	39,000,000	0	112,331,00
① 印刷製本費				0					0	463,980	463,980
② 賃借料				0					0	1,486,801	1,486,80
③ 水道光熱費									0	15,887	15,88
④ 計謝金									0	10,007	10,00
⑤ 委託費				0					0	1,514,099	1,514,099
⑥ 支払負担金				0					0	4,575,000	4,575,000
⑦ 支払手数料				0					0	26,092	26,09
8 租税公課				0					0	124,541	124,54
9 役員報酬				0					0	306,000	306,000
⑪ 給料手当				0					0	264,249	264,249
① 退職給付費用				0					0	210,000	210,000
① 福利厚生費				0					0	102,056	102,05
③ 会議費				0					0	139,232	139,23
14 旅費交通費				0					0	145,666	145,660
⑤ 通信運搬費				0					0	128,493	128,49
⑯ 消耗品費				0					0	32,961	32,96
⑪ 減価償却費				0					0	63,267	63,26
管理費計				0					0	9,598,324	9,598,324
経常費用計	17,464,328	27,327,719	29,121,207	73,913,254	6,674,447	18,786,439	12,768,947	808,800	39,038,633	9,598,324	122,550,21
評価損益等調整前当期経常増減額	△16,446,828	△26,529,919	△16,394,558	△59,371,305	△6,671,247	△13,482,965	△7,371,947	△808,800	△28,334,959	55,746,801	△31,959,46
特定資産評価損益等										△21,745,260	△21,745,26
当期経常増減額										34,001,541	△53,704,72
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益				_ _							
経常外収益計											(
(2) 経常外費用											
経常外費用計											(
当期経常外増減額											-
											△53,704,72
当期一般正味財産増減額											200,704,72
当期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高											976,001,343 922,296,620

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記 該当なし

2. 重要な会計方針

- (1)「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 改正平成 21 年 10 月 16 日 改正 令和 2 年 5 月 15 日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価法 有価証券については個別法の時価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却
 - ① 有形固定資産(リース資産を除く) 建物付属設備、什器備品 定額法によっている。
 - ② 無形固定資産(リース資産を除く) ソフトウェア 定額法によっている。
 - ③ リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、役職員に対する退職金の期末要支給額を計上している。 賞与引当金は、支給対象期間が当期に属する支給見込額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	3, 540, 000	210, 000	0	3, 750, 000
運営強化基金	910, 926, 090	0	61, 745, 260	849, 180, 830
宮島基金	13, 409, 705	0	54, 340	13, 355, 365
合 計	927, 875, 795	210, 000	61, 799, 6000	866, 286, 195

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	3, 750, 000			(3,750,000)
運営強化基金	849, 180, 830		(849, 180, 830)	
宮島基金	13, 355, 365		(13, 355, 365)	
合 計	866, 286, 195		(862, 536, 195)	(3, 750, 000)

5.担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	656, 040	63, 267	592, 773

- 7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高 該当なし
- 8. 保証債務等の偶発債務 該当なし
- 9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益 該当なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照 表上の 記載区分
補助金 I C T 社会に おける安心安全 確保に関する 補助事業	公益財団 法人 J K A	0	12, 726, 649	12, 726, 649	0	
合	計	0	12, 726, 649	12, 726, 649	0	

補助事業の収支計算は次のとおりである。

2020年度 I C T社会における安心安全確保に関する補助事業

科目	予算額	決算額	差異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
補助事業収入			
(1)公益財団法人JKA補助金収入	22, 498, 000	12, 726, 649	9, 771, 351
(2)一般会計繰入金収入	5, 626, 000	3, 386, 315	2, 239, 685
事業活動収入計	28, 124, 000	16, 112, 964	12, 011, 036
2 事業活動支出			
補助事業支出 (1)公益財団法人JKA補助事業費 ICT社会における安心安全確保に 関する補助事業	28, 124, 000	16, 112, 964	12, 011, 036
事業活動支出計	28, 124, 000	16, 112, 964	12, 011, 036
事業活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

- 11. 基金及び代替基金の増減額及びその残高 該当なし
- 12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額 該当なし
- 13. 関連当事者との取引 該当なし
- 14. 重要な後発事象 該当なし

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表の注記3. 特定資産の増減額及びその 残高に記載しているため記載を省略します。

2. 引当金の明細

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3, 540, 000	210, 000	0	0	3, 750, 000
賞与引当金	255, 020	259, 357	255, 020	0	259, 357

一般社団法人日本教育情報化振興会 会 長 山 西 潤 一 様

監事 大島国昌

監査報告書

私たち監事は、一般社団法人日本教育情報化振興会の2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果についてつぎのとおり報告いたします。

記

1. 監査方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監 査 意 見

- (1) 事業報告等の監査結果
- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示している ものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の 状況を正しく示しているものと認めます。

独立監査人の監査報告書

2021年5月13日

一般社団法人日本教育情報化振興会

会長 山西 潤一 殿

公認会計士甲良好夫事務所

東京都港区

甲良好

監査意見

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、 一般社団法人日本教育情報化振興会の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度 の貸借対照表及び損益計算書(公益認定等ガイドラインII-4の定めによる「正味財産増減計算書)をい う。)及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味 財産増減計算書内訳表(以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。) について監査を行っ た。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠し て、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益(正味財産増減)の状況を全ての重要な点において適正に 表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準に おける私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における 職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を 果たしている。私は意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠して財務諸表等 を作成し適正に表示することにある。これには、不正または誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等 を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切 であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継 続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正または誤謬による 重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸 表等に対する意見を表明することにある。 虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個 別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要 性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、 リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を 検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査 証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が 認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告 書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記 事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人 の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継 続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に 準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財 務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適切に表示しているかどうかを評価する。

監査人は監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上